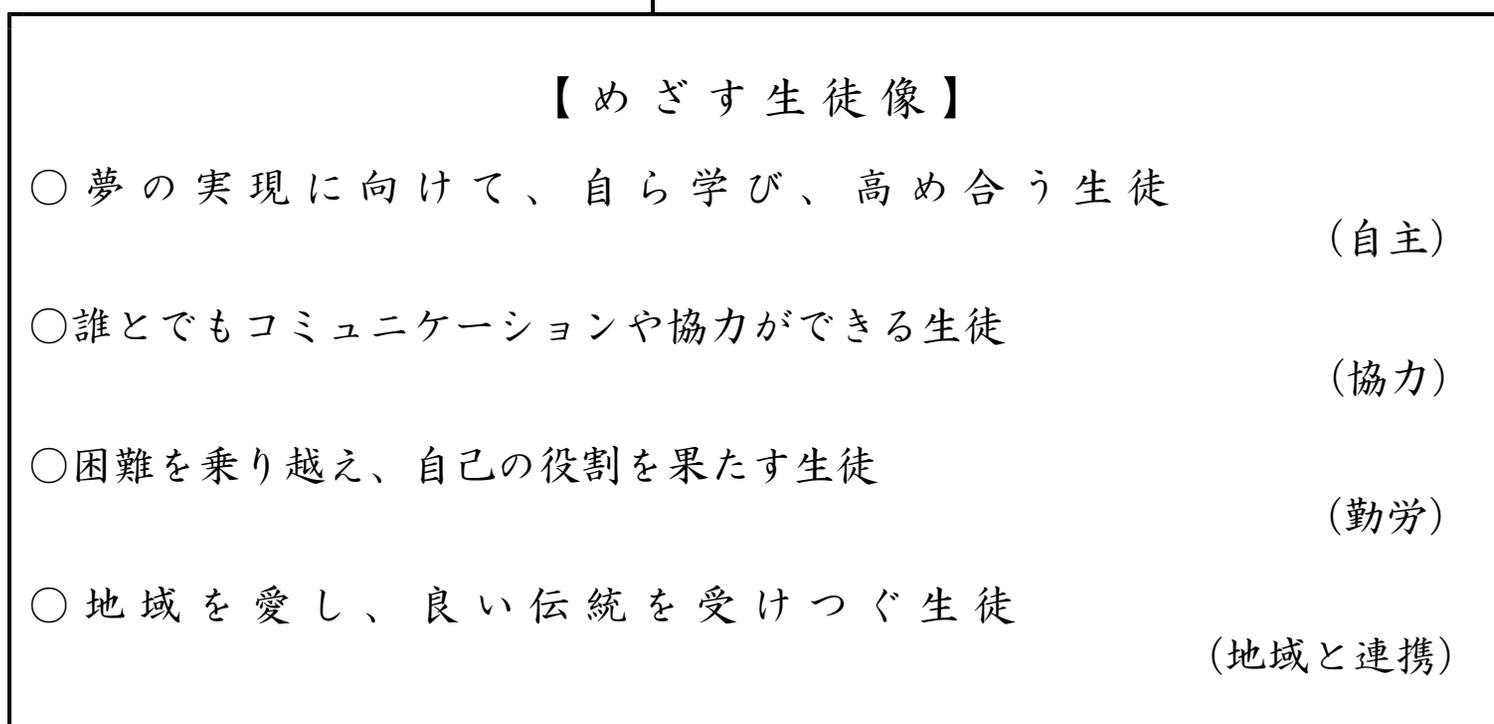
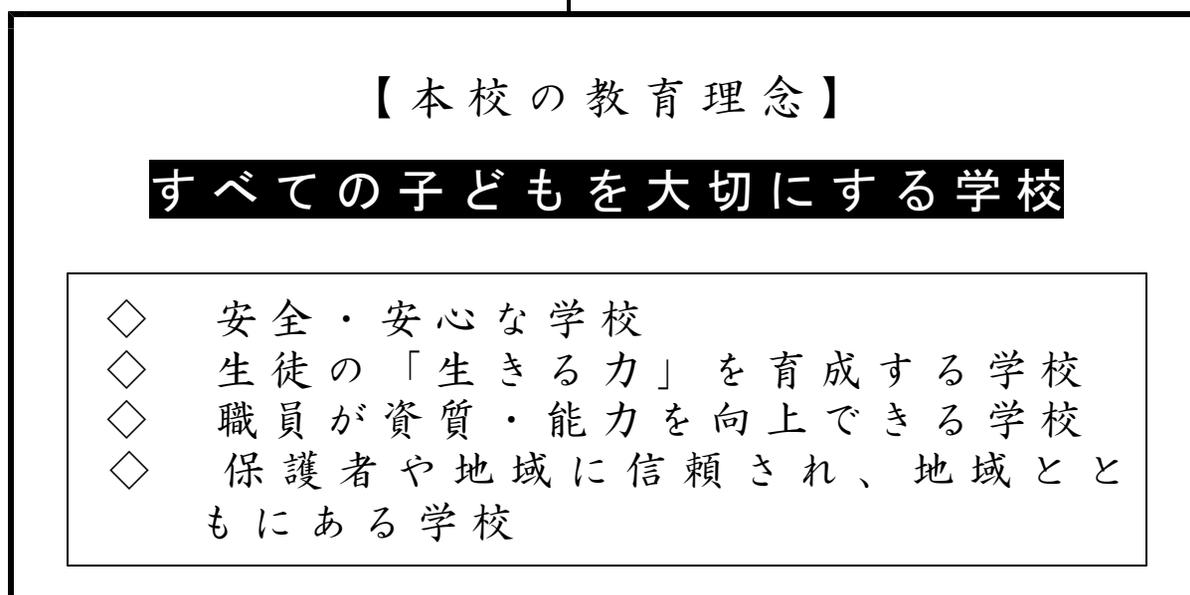
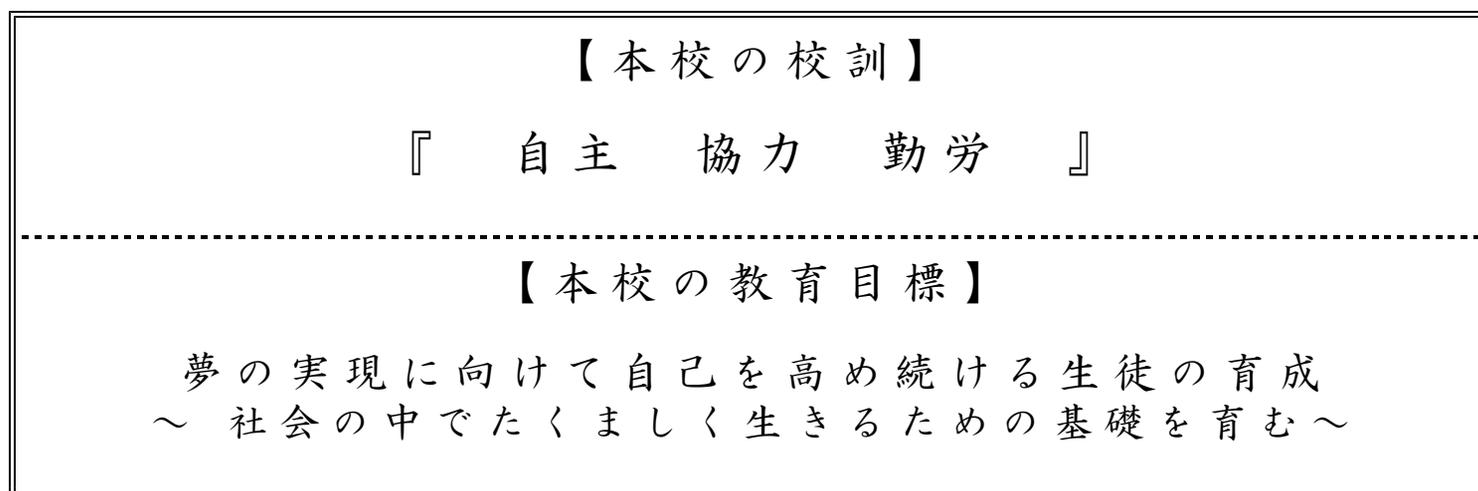


Ⅱ 経営の実際

1 教育の基本概念と方針

(1) 本校教育の目標および教育理念



(2) 学校経営の方針

安全・安心な学校づくり、望ましい生活習慣の形成、さらなる学力充実の取組

- 「安全・安心な学校づくり」について
学校が安全・安心な場所であることは、学校教育活動すべての基本と考える。そのために、以下のことに取り組んでいく。
 - 環境整備…校舎の安全点検と営繕、校地の整備
 - 組織的な生徒指導や人権教育、特別支援教育の取組
…各種委員会での対応の検討、情報共有と共通実践
 - 望ましい人権関係づくり
…教師と生徒の信頼関係づくり、生徒主体の取組（生徒会活動等）。生徒同士の間関係（道徳教育、ソーシャルスキルトレーニング）
 - 家庭や地域への適切な情報発信
…学級通信、学校だより、学校HP、配信メール
 - その他 …保健指導・管理、アレルギー対応、台風・大雨・降雪・災害対応等
- 「望ましい生活習慣の形成」について
望ましい生活習慣を身につけることは、生徒の学びにおいても、健康面においても重要になる。そのため、以下のことに取り組んでいく。
 - 生活面 …三点（就寝・起床・朝食）固定に向けた取組、あいさつ・返事・身なりを整えることの指導、適度な運動の奨励、メディアコントロール
 - 学習面 …話を聞く姿勢（目と耳と心で聞く）の指導、家庭学習習慣の取組の充実
- 「さらなる学力充実の取組」について
社会の中でたくましく生きていくためには、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけ、学びを生かすこと・学び続ける気持が必要と考える。そのための基礎的・基本的事項の定着に向けて以下のことに取り組んでいく。
 - 授業改善…生徒が主体となる授業・「わかる・できる」授業づくり
 - 個別指導の時間の確保
…定期テストの前後等定期的な補充学習・個別指導の実施
 - その他 …ICTの効果的な活用、TT等の学年1クラスであることを生かした取組

(3) 本校の教職員として

生徒の可能性を高めるとともに、教師として自身が成長するために、大事にしたいこと

- 「教育的愛情と人権感覚」
主役は生徒であることを自覚し、生徒が自身の成長を自覚し、生き生きと学校生活を送ることができることを第一に考える教師でありたい
- 「使命感と向上心」
教育の専門家として生徒の夢実現に向けて精一杯取り組むとともに、変革期の学校において有用な存在であり続けるため、学び続ける教師でありたい。
- 「組織の一員としての自覚」
教職経験等の違う教師が、互いの良さを引き出したり、互いに助け合ったりする中で課題解決につながっていくので、チームとして動ける教師でありたい。
- 「保護者・地域との信頼関係」
保護者・地域の理解と協力により、学校は教育活動を円滑に進めている。地域とともにある学校に向けて、保護者・地域から信頼される教師でありたい。

※教育は子どもの未来に対する責任がある。その教育に携わるためには、職員が心身共に健康でなければならない。健康管理を適切に行い、対話を大切にし、チームワークのある教職員集団でありたい。

2 教育の全体構想

(1) 学校経営基本構想

